

# 現

在の経済状況について政府は、1月の月例経済報告で、「景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、回復している」とし、政策の基本的態度については、「経済財政改革の基本方針2007」に基づき、改革への取組を加速・進化する」としています。

今日の地方の財政状況は、「三位一体の改革」により3兆円規模の税源移譲が実現したものの、同時に実施された交付税総額削減や国庫補助負担金の廃止縮小の影響で地方自治体の財源不足はより深刻になっていくのが実情です。

本町における財政事情も例外ではありません。歳入においては、今までと同様に大幅な町税の増収が見込めない状況であり、引き続き地方交付税の総額は、抑制基調であることから、根幹的な歳入一般財源の確保は厳しくなる状況です。他方、歳出では、今後も下水道施設整備など、過去

事業にかかる償還金と、少子高齢化・福祉施策の充実に伴う社会保障関係費が増大することは必至です。

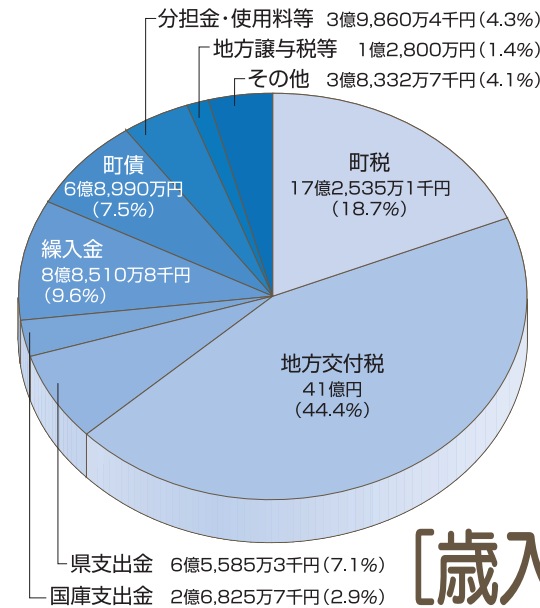
また、財政調整基金は19年度末残高見込額が約31億円であり、来年度以降も取り崩さないという予算が組めない状況で、あと数年で底をつきます。平成20年度予算編成にあたっては、国県・近隣市町の予算措置動向を今以上に調査把握し、税収入の確保、受益者負担適正化等の財源確保に努め、事務事業全般について費用対効果を徹底的に見直し、「ふるさと ふれあい 心を育む 中能登町」を基本理念に、創意と工夫を凝らした予算編成をしました。

## 平成20年度会計別当初予算

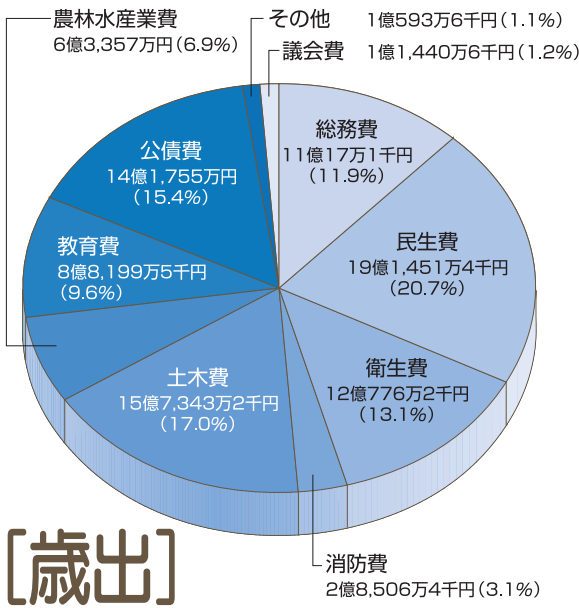
会計名	予算額
一般会計	92億3,440万円
老人保健特別会計	2億 971万円
後期高齢者医療特別会計	2億1,342万7千円
介護保険特別会計	16億 363万1千円
国民健康保険特別会計	19億8,904万4千円
下水道事業特別会計	14億6,631万3千円
分譲宅地造成事業特別会計	1億5,189万円
ケーブルテレビ事業特別会計	1億 610万円
水道事業会計 収益的支出	3億3,568万3千円
水道事業会計 資本的支出	4億6,495万6千円
合計	157億7,515万4千円

# 平成20年度一般会計 予算総額 92億3,440万円

3月5日から開催された第1回定例議会で、平成20年度中能登町予算が可決されました。  
一般会計を中心に、その概要をお知らせします。



## [歳入]



## [歳出]

## 平成20年度の 主な事業

- 1 **にぎわいと活力  
あるまちづくり**
  - 町指定避難所案内看板設置工事 500万円
  - 町防災訓練実施費 20万円
  - 分譲宅地造成関連事業(道路整備事業) 4,900万円
  - 町道新設改良及び消雪工事業 1億271万2千円
  - 中能登町園芸産地活性化推進事業他(カラー野菜等) 184万6千円
  - 県営土地改良事業(ほ場整備、老朽ため池整備)負担金 8,559万2千円
  - 導水送水配水管路新設改良整備事業 3,400万円
  - 上水道主要施設構築・耐震化整備事業 2,320万円



カラー野菜で作った料理

- 2 **健康でいきいきと  
喜らせるまちづくり**
  - ウェルカム定住奨励金(中古住宅の対象拡大) 335万円
  - 高齢者世帯及び障害者世帯への火災警報器設置事業 765万9千円
  - 寝たきり等介護慰労金支給事業(月額支給単価を1万円から2万円に増額) 1,440万円
  - 町立図書館統合システム導入 2,571万円



各図書館の連携を強化

- 3 **地域の風土を  
活かしたまちづくり**
  - 雨の宮古墳群保存修理事業 550万円



国指定史跡の雨の宮古墳群

- 4 **強いきずなを  
育むまちづくり**
  - 町祭事業費 2,300万円



大きな輪が出来た総踊り(昨年)

- 5 **学びを支える  
まちづくり**
  - 統合中学校建設  
基本設計・用地測量・地質調査等 2,719万7千円



統合後も勉強・部活動で輝かしい成績を



華やかなファッションショー(昨年)